

2005年6月30日

発行：日本福祉介護情報学会（<http://jissii.jp>）埼玉県新座市北野1-2-26 立教大学コミュニティ福祉学部 森本研究室内 [jissii-mail@e-wel.ne.jp](mailto:jissii-mail@e-wel.ne.jp)

【目次】	1. 第5回大会を終えて……………	1
	2. 第6回大会のご案内……………	2
	3. 学習会……………	2
	4. 学会紀要「福祉情報研究第2号」……………	3
	5. 学会ホームページ……………	3
	6. 事務局から……………	4

## 1. 第5回大会を終えて

日本福祉介護情報学会 第5回研究大会実行委員長  
岩手県立大学 社会福祉学部  
福祉経営学科 福祉開発コース  
小川 晃子

「地域ケアを支える情報システムとITの未来」をテーマとする日本福祉介護情報学会第5回研究大会を、2004年11月6日に岩手県立大学にて開催いたしました。本学会として初の地方開催であるため、参加者が少ないのではないかと懸念しておりましたが、遠路はるばる来てくださった会員も多く、また岩手県学術振興財団の助成により午後のプログラムを県民への公開講座としたこともあり総勢110名の参加を得て、プログラムも滞りなく進行し無事閉会することが出来ました。また、大会翌日の研究視察にも23名の会員がご参加くださいました。不慣れた大会運営でご迷惑をお掛けした事をお詫び申し上げると共に、ご参加いただきました皆様のご協力に対し、心からお礼申し上げます次第です。

大会の内容に関しましては、多様で先進的な福祉の情報化が取り上げられ、予想以上の成功であったと自負しております。午前中の自由研究発表は8本の申し込みがあり、本学会としては初の2会場で同時進行する形となりました。地域や自治体・社会福祉施設の情報化をテーマとするものに加えて利用者主体の情報システムや地域医療についてテーマとするものがあり、福祉分野の情報化が幅広い領域で取り組まれていることを学ぶことができたと感じております。なお、発表申し込みが多かったため、個々の発表時間を25分としたことに対し、この場を借りてあらためてお詫び申し上げます。

学会代表理事の高橋紘士氏、岩手県立大学学長西澤純一氏、及び岩手県宮古市長熊坂義裕氏の3者の鼎談「これからの福祉～科学と文化の交差点」は、テーマ通り「情報」という点で交わっているものの3氏の専門性と教養に裏打ちされた壮大な観点からの展開となり、これまでの学会プログラムとは趣が異なる印象深い内容でした。

シンポジウム「地域ケアを支える新たなテクノロジーと文化」では、「みちのく福祉情報風土記」と題し、岩手県内の地域性に根ざした7つの取り組みの話題を提供していただきました。本学会理事の生田正幸氏の手際の良い進行により時間通りにおさまりましたが、時間的制約から議論が十分にしつこくできなかった面もあったと反省しております。

大会当日は天候にも恵まれ、晩秋の北東北の良さを味わっていただくことができました。また、懇親会には西澤氏や熊坂氏も最後までご参加いただき、福祉と他分野の情報交流の場とな

ったと感じております。

東京での開催とは異なり官公庁の方々のご参加を得にくい面もあり、ご批判も頂戴いただきましたが、地方大学ならではの多くの方々のご協力を賜り素晴らしい大会になりました。ご協力をいただきました皆様、本当にありがとうございました。深謝とともに、次回開催校である立教大学にバトンタッチをさせていただきます。

## 2. 第6回大会のご案内

日本福祉介護情報学会 第6回研究大会担当校  
立教大学 コミュニティ福祉学部  
森 本 佳 樹

会員の皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、第6回大会は、立教大学の会員が中心となってお引き受けすることになりました。下記の通り、例年通りの時期的開催となりますので、さっそく予定表などにお書き込み下さい。大会テーマなど、具体的な内容については目下検討中です。

開催要項が出来次第ご連絡差し上げたいと思いますが、いまのところ、9月末を自由研究発表の、10月末を大会参加申し込みの、それぞれ期限とする予定です。

1. 会期 2005年12月3日(土) AM10:00~PM17:00
2. 会場 立教大学武蔵野・新座キャンパス
3. 大会行事 講演・シンポジウム・研究発表・懇親会等
4. 連絡先 埼玉県新座市北野1-2-26 立教大学コミュニティ福祉学部  
森本研究室内 jissi-mail@e-wel.ne.jp

## 3. 学習会

2005年3月26日(土)午後1時半から5時まで、立教大学池袋キャンパスにおいて、「福祉・介護における情報政策の動向～『情報開示の標準化』『個人情報取り扱いガイドライン』をめぐって」を開催し、65名の参加を得ることができました。

内容は、以下の通りです。

- ①「介護サービスの情報開示の標準化(第三者評価)」をめぐって  
シルバーサービス振興会企画振興部長 久留 善武氏
- ②「医療・介護関係者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」をめぐって  
厚生労働省老健局総務課企画法令係長 河村 のり子氏

お二人の報告に対し、活発な質疑が行われました。今後も、タイムリーな企画をお届けしたいと思いますので、ご期待ください。

なお、当日の配布資料(1冊実費1,000円+郵送料)には若干残部があります。ご希望の方は事務局まで電子メールないしはファクシミリ・郵送でお申し込みください。請求書をつけて資料をお送りします。

#### 4. 学会紀要「福祉情報研究2号」

学会紀要「福祉情報研究2号」は現在、編集作業中です。3本の投稿論文と2本の実践報告、及び書評と学習会・学会記録が掲載されます。9月末までに皆様のお手元にお届けする予定でおります。

#### 5. 学会ホームページ

##### ■ 学会ホームページ (<http://jissi.jp>) の内容充実

学会ホームページは徐々に充実を図ってまいりましたが、さらに内容の拡充や更新頻度の向上を目指して検討をしております。具体的には、理事や会員からの情報発信や関連書籍紹介コーナーの設置、会員ホームページのリンク等の充実を予定しております。会員の皆様にも個別に執筆をお願いすることを検討しておりますので、その際はご協力をいただけますようよろしくお願い申し上げます。

##### ■ 会員用ホームページ開設にともなう会員情報の確認

すでに学会総会においてご了承頂いておりますが、会員用ホームページの開設にともないUMIN（大学病院医療情報ネットワーク研究センター：<http://www.umin.ac.jp/umin/>）のIDが必要となります。下記をご参照の上、会員の皆様に手続きをとっていただけますよう、お願いいたします。なお、先般、学会側でUMIN IDの一括登録をさせていただいた会員様は既に会員用ホームページアクセスのための登録は完了しておりますので下記の手続きは不要となります。

##### 1 既にUMINのIDをお持ちの場合

学会のホームページ管理者側で手続きをして新規会員に通知しますので、お持ちのUMINのIDをお知らせください。処理終了後、そのIDで会員制ホームページにアクセス可能となります。

##### 2 UMINのIDをお持ちでない場合

学会入会者には、本学会がグループ管理するメンバーとして、UMIN登録資格が生じます。以下の手順で登録してください。

- ・ご本人が <http://www.umin.ac.jp/> にアクセスし、「UMIN登録のご案内」よりUMIN IDを取得願います。
- ・UMIN ID取得後、取得したIDを学会管理者にご連絡ください。

学会担当者がそのUMIN IDを日本福祉介護情報学会のグループに登録させていただきます。



## 6. 事務局から

### ■ 会員加入状況 (2005年3月末現在)

個人会員105名 / 学生会員29名 / 法人会員5法人(登録6名)

### ■ 2005年度会費請求

本通信とともに、請求書を送付させていただきました。

お振込みをいただきますよう、よろしく御願いたします。

### ■ 理事の追加選任について

学会会則第15条(役員を選出)第2項に基づく「代表理事の推薦による非選出理事」として、林恭裕会員(北海道浅井学園大学)の理事選任の推薦があり、理事会でこれを承認いたしました。林理事には、紀要編集を担当していただきます。

### ■ 学会紀要実費頒布

学会紀要『福祉情報研究第1号』(1冊実費1,000円+郵送料)も実費頒布中です。ご希望の方は事務局まで電子メールないしはファクリミリ・郵送でお申し込みください。